

～目黒のサクラ再生計画～

目黒のサクラ基金を活用してサクラ保全事業を行っています

—碑さくら通り、田向円融寺通り、碑文谷五丁目緑地のサクラ再生の方針が決まりました—

目黒区内には約2,300本の桜があります。そのうち公園、緑道、街路樹の桜では、約1,000本が今後10年でソメイヨシノの寿命といわれる樹齢60年となります。目黒のサクラ保全事業は、区が管理する桜について樹木医による樹木診断を行い、倒木の危険のある桜を抽出し、桜の伐採とサクラ再生計画の策定、桜の植替え・保護を行うものです。

平成27年度は、道路緑地のすべての桜(1,015本)の初期診断を行い、191本について外観診断を実施しました。そのうち樹勢が衰退していた94本について精密診断を実施し27本の倒木危険木を伐採しました。

平成28年度は、27年度に行った樹木診断の結果、樹木の老朽化が進んでいた3路線(碑さくら通り、田向円融寺通り、碑文谷五丁目緑地)について、地元検討会を開催し区民の皆様のご意見をお聞きしながら、サクラ再生計画の検討をしてきましたが、去る12月9日の第3回検討会で、将来にわたって引き継ぎたい桜並木の景観イメージに基づき植替え品種を確認し、桜並木の再生方針が決まりました。



コシノヒガンザクラ



オカメザクラ

第2回検討会(10月7日)では、区から提案した、桜並木の景観の将来像と今後植替える桜品種について参加者の皆様からご意見が出されました。それを踏まえて区で再検討し、第3回検討会で「桜並木の再生方針(案)」を提案して、ご了承いただきました。

桜を伐採する場合に植替える桜の品種

碑さくら通り・田向円融寺通り

地域のシンボルとなっている桜並木の景観を将来にわたって引き継ぐため、ソメイヨシノで植替えます。碑さくら通りの一部では、ソメイヨシノに似た花で、ソメイヨシノよりやや小さいコシノヒガンザクラで植替えます。

碑文谷五丁目緑地

狭い空間でも桜が楽しめるよう、オカメザクラで植替えます。



お知らせ

平成29年3月4日(土)、碑住区センターにおいて「平成28年度目黒のサクラ保全事業」の報告会を予定しています。ぜひご参加ください。

連絡先:みどりと公園課 電話:03-5722-9745

メール:midori04@city.meguro.tokyo.jp

① 碑さくら通り サクラ再生の方針

地域のシンボルとなっている桜並木の景観を将来にわたって引き継ぎます

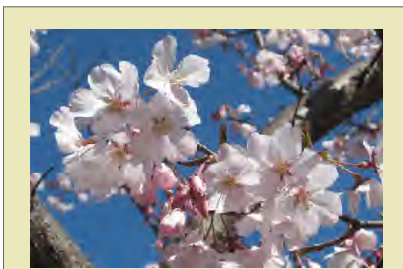
ソメイヨシノで植替えます。狭い空間では、ソメイヨシノに似た花と樹形で、ソメイヨシノよりやや小さいコシノヒガンザクラで植替えます。



ソメイヨシノで植替えたイメージ



コシノヒガンザクラで植替えたイメージ



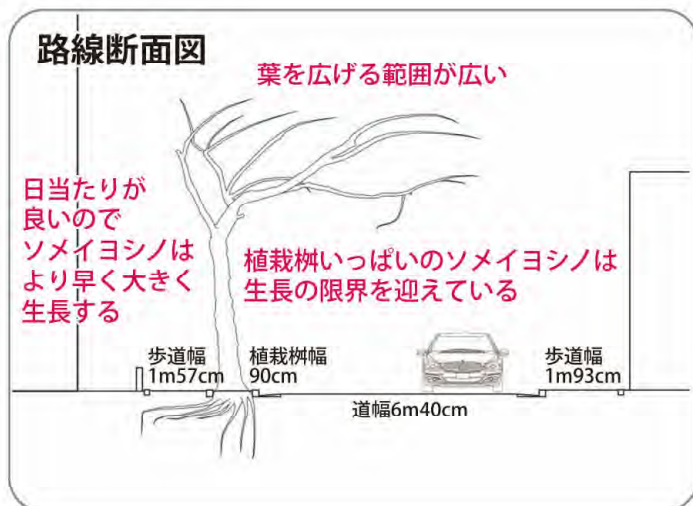
コシノヒガンザクラ
(エドヒガン×キンクマメザクラ)

- ・樹形は傘状
- ・一重咲、淡紅色、中輪
- ・3月中旬開花、ソメイヨシノより早い
- ・比較的大きくなる



平成27年度の樹木診断で不健全と診断された樹木を順次伐採しています。平成30年度以降に植替えを行っていきます。学校や公共施設付近はソメイヨシノを、個人住宅に接する区間にはコシノヒガンザクラを、植栽していきます。

● 桜並木の現状と課題、植替品種の検討 ●



街路の条件

対向2車線

歩道幅：普通

植栽幅：普通。単独樹が多い

植栽間隔：8m以上。片側植栽（北側のみ）

日照条件：良好

土壌条件：良好

現桜並木の良い点・問題点

良い点

- ・街路の北側のみ植栽で、日当たりが良く生長良好
- ・緑量が多く景観良好
- ・歩道下の土壌良好、根を張るスペースは十分ある

問題点

- ・歩道が狭く、幹は太く大きく、通行に支障となる場所がある
- ・根による植栽樹の縁石持

- ・上げなどで通行に支障がある
- ・敷地側の枝が切り詰められている箇所がある
- ・敷地側に大きく枝を伸ばしている箇所がある
- ・ソメイヨシノの落葉量が非常に多い
- ・きのこの発生により危険な木が増えている

新規植栽注意点

- ・交差点、横断歩道、T字路出口、駐車場出入口近くの植栽は不可
- ・植栽間隔は現状維持（8m）

● 植栽可能な桜の条件

- ・樹形… 箒状、盃状、広卵状
- ・大きさ… 大型品種も植替え可能。大木のサクラや建物の陰にならない日当たりの良い場所は小型品種も植替え可能

● 推奨品種としてヨウコウザクラを提案（第2回検討会）

- ・大きさはソメイヨシノに近づくので、並木としての景観に連続性ができる
- ・花は濃いピンクで色合いにアクセントができる
- ※花が淡紅色の品種はコシノヒガンザクラ、コヒガンザクラ

● 主なご意見

現在のソメイヨシノの並木景観は地域のシンボルとなっており、心の風景として大切にしたい。一方で、近隣住民の方々には落ち葉清掃などでご負担をかけている。植栽場所の条件を細かく調査してソメイヨシノで植え替えられる場所には再びソメイヨシノを植えて欲しい。

● 植替え品種の再提案（第3回検討会）

公共施設や学校付近はソメイヨシノ、個人住宅に接する区間は落ち葉清掃などのご負担が軽減できるよう小型品種で花の色がソメイヨシノに似ているコシノヒガンザクラを植替え品種として提案し、了承されました。

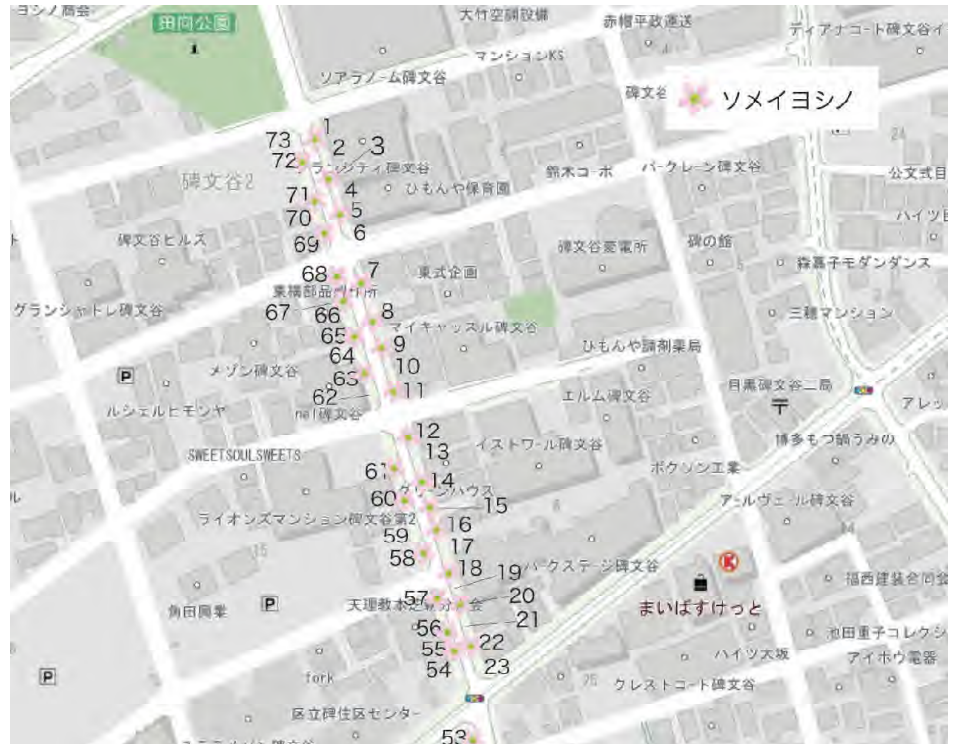
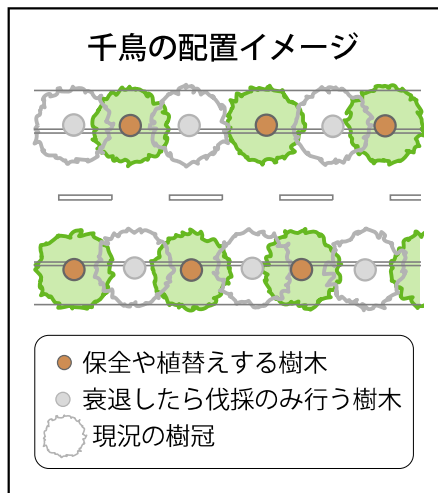
② 田向円融寺通り サクラ再生の方針

地域のシンボルとなっている桜並木の景観を将来にわたって引き継ぎます

ソメイヨシノで植替えます。両側の歩道に桜が植栽されている箇所は、互い違いの位置に桜がある配置(千鳥の配置)となるようして、樹冠を広げられる空間を確保しつつ、桜のトンネルの景観を維持します。

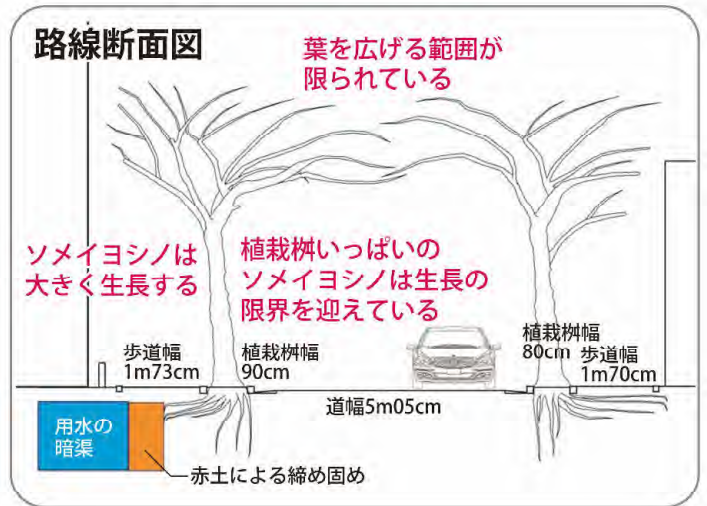


ソメイヨシノで植替えたイメージ
(千鳥の配置)



平成27年度の樹木診断で不健全と診断された樹木を伐採しています。平成30年度以降に植替えを行います。

●桜並木の現状と課題、植替え品種●



街路の条件	現桜並木の良い点・問題点	新規植栽注意点
<p>対向2車線 歩道幅：普通 植樹幅：普通。東側の一部が狭い 植栽間隔：6m程度の所が多い。北側は両側植栽。南側は一部を除き片側植栽 日照条件：両側植栽部では、隣木との競合のため、やや不足 土壌条件：良好</p>	<p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜が両側に植栽されている箇所では、桜のアーケード状の景観になっている 歩道下の土壌良好、根を張るスペースは十分ある <p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 植栽間隔が狭く(6m程度)、ヤエザクラなどは樹勢不良となっている 	<ul style="list-style-type: none"> 交差点、横断歩道、T字路出口、駐車場出入口近くの植栽は不可 新規植栽地は、隣木と8～10m離れた位置が良い 日当たりを考慮して両側植栽部では千鳥の配置を検討する

●植栽可能な桜の条件

- ・樹形…帚状、盃状、広卵状
- ・大きさ…大型品種も植替え可能。日当たりの良い場所は小品種も植替え可能。

●推奨品種としてヨウコウザクラを提案(第2回検討会)

- ・大きさはソメイヨシノに近づくので、並木としての景観に連続性ができる
- ・花は濃いピンクで色合いにアクセントができる

●主なご意見

現在のトンネルとなる桜並木景観は地域のシンボルとなっており、心の風景として大切にしたい。一方で、近隣住民の方々には落ち葉清掃などでご負担をかけている。アマノガワなど小型の品種やヤエザクラも植えられており、管理上のメリットやソメイヨシノの後にも桜を楽しむ良さもあると、小型の品種にも理解は示されましたが、大勢を占めたのはソメイヨシノが一斉に咲く並木としての統一美を保ちたいというご意見でした。

●植替え品種の再提案(第3回検討会)

両側植栽部では互い違いの位置に桜がある配置(千鳥の配置)となるようにして、樹冠を広げられる空間を確保しつつソメイヨシノで植替えていくこととしを提案し、了承されました。

③ 碑文谷五丁目緑地 サクラ再生の方針

小さな通りでも桜を楽しめる道にします。

オカメザクラで植替えます。小型の品種ですが樹形はソメイヨシノに似て広卵状で、花の色がやや濃く印象的な桜です。



オカメザクラ

(カンヒザクラ×マメザクラ)

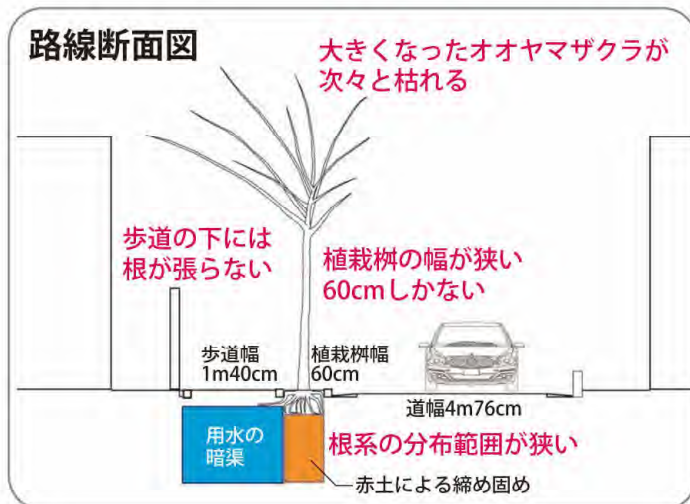
- ・樹形は広卵状、小型
- ・一重咲、淡紅色、小輪
- ・3月下旬開花、ソメイヨシノより早い
- ・あまり横に広がらない

オカメザクラの植替えイメージ



平成27年度の樹木診断で不健全と診断された樹木を伐採しています。平成30年度以降に植替えを行います。

●桜並木の現状と課題、植替え品種●



街路の条件

1車線一方通行

歩道幅：やや狭い

植樹幅：狭い。植樹帯、単独樹

植栽間隔：8m以上。片側植栽（南側のみ）

日照条件：ほぼ良好。建築物の陰になる箇所がある

土壌条件：地下40cm以上の深さでは硬い（根の生長に制限あり）

現桜並木の良い点・問題点

良い点

- ・桜の当初の生長は良好（土壌は良好、日当たりも比較的良好）

問題点

- ・地下の根を張るスペースに限りがある
- ・大きくなったオオヤマザクラは枝枯れを起こし、きのこも発生し、枯れた

新規植栽注意点

- ・交差点、横断歩道、T字路出口、駐車場出入口近くの植栽は不可
- ・できるだけ植栽のスペースが取れる植栽帯内への植栽を検討する
- ・街路が狭いのでソメイヨシノの植栽には向かない

●植栽可能な桜の条件

- ・樹形…箒状、盃状、広卵状
- ・大きさ…根系が比較的小さい小型の品種

●推奨品種としてアマノガワを提案(第2回検討会)

- ・枝幅が小さく、生長も緩やか
- ・多様な桜景観とする場合に混植して植栽する品種にコヒガンザクラ、オカメザクラを提案

●主なご意見

アマノガワは小型で生長が遅く、落葉などの問題もほとんどなく、植替え品種として評価できるとする意見と箒状の樹形で桜の趣に欠けるという意見がありました。

●植替え品種の再提案(第3回検討会)

現状で、枯れたオオヤマザクラを植替えたアマノガワは順調に生育していることから、植替え品種としてアマノガワを再度提案しました。また、どうしてもアマノガワは受け入れ難いとされた場合は、オカメザクラを提案しました。

アマノガワの樹形やゆっくりした生長が敬遠され、植替え品種はオカメザクラとなりました。

桜守活動 (世田谷区の上北沢桜並木会議の活動紹介)

今後、桜並木を保全していくためには区民の皆様の参加が大きな力になると考えております。住民参加型の桜保全活動を桜守活動と位置づけ、先ずは花芽調査など桜や桜並木の景観に関心を持っていただけるようなイベントを企画して参加者を募集し、桜守活動に賛同していただける人の輪を作り、そこから本格的に桜守活動が始動していけばと考えております。

第3回検討会では、今後目黒区で桜守活動を進めていく上で参考になる住民参加型の桜保全活動事例として、世田谷区の上北沢桜並木会議の活動を紹介しました。上北沢桜並木会議は京王線上北沢駅近くの街路樹の桜並木の保全活動を行っており、平成16年(2004年)3月に発足し、2016年度は賛助会員数107(法人6社、個人101人)となっています。

1年を通して活動が行われています。

年間行事



1～2月	花芽観察会とセミナー (その結果をまとめ、桜の健康診断書を改定しています)	
4月	町の行事「桜まつり」に参加 (広報活動)	
4～5月	花・しべの清掃活動	
5～6月頃	害虫駆除	
9月	観察会・実態調査とセミナー (その結果をまとめ、桜の健康診断書を改定しています)	
10～12月	落ち葉清掃	
11月	上北沢区民センター「文化祭」に参加 (講演、広報活動等)	
通年	「路上禁煙推進活動」に参加 (上北沢駅前におけるキャンペーン)	
上記以外の清掃活動：随時		

PR活動にも力を入れており、「上北沢桜並木通信」を年3～4回発行、ホームページ運営、上北沢文化祭では活動報告を実施しています。また、メンバー獲得は活動を継続していく上で重要なことであるため新規メンバーの勧誘なども行っています。なお、3月に開催予定の「目黒のサクラ保全事業報告会」で上北沢桜並木会議の方に活動報告をしていただく予定です。

今年度は目黒のサクラ再生計画検討会を3回開催し、多くの貴重なご意見をいただきました。

碑さくら通り、田向円融寺通り、碑文谷五丁目緑地の桜植替え品種の検討については当初の目的を果たすことができました。

多くの皆様にご協力頂きましてありがとうございました。

[検討会の内容]

- 第1回 「樹木診断の結果報告と今後の課題」
- 第2回 「桜景観の将来像の検討について」
- 第3回 「桜再生方針の提案」
「住民参加型の桜保全活動について」

平成29年3月4日(土)、碑住区センターにおいて「平成28年度目黒のサクラ保全事業」の報告会を予定しています。ぜひご参加ください。